



### なぜ遊びが必要なのでしょう？

子どもにとっての遊びとは、単なる時間つぶしや休憩ではありません。遊びや体験の中から、生きていく上での必要な力を身に付けていきます。

遊びは、「面白いから」「楽しいから」取り組まれるものです。子どもは、一人ひとり、好きなことややりたいことがあり、集中したり、没頭したりして真剣に遊んだ結果、様々な力を身に付けていきます。

何よりも大切なことは、子どもが、自分で、好きなことや、やりたいことを見つけること、その楽しさや喜び、悔しさなどを共感できる仲間がいること、その姿に共感し、温かいまなざしで見守るおとながいること、子どもにとって、関わりたくなる環境があること、豊かな自然が周囲にあること…。

これらが幼児教育の充実につながります。

乳幼児期の子どもは、

- ・体を動かす楽しさや、自分の力で行動することに充実感をもつこと、
- ・身近な人と親しみ、信頼感をもち、友達と力を合わせること、
- ・身近な環境に自ら関わり、興味・関心をもって、発見や不思議さを感じる事、
- ・自分の気持ちをことばで表現したり、絵本や物語に親しみ想像力を膨らませたりすること…など、

様々な経験を通して、人と関わる力や考える力、表現する力、感性などを身に付けていきます。

こうした一つずつの力は個別に身に付くものではなく、様々な力が絡み合いながら育っていきます。こうした力は、遊びや生活などの様々な体験を通して、少しずつ育まれるものです。

伊丹市では、子どもが主体的に遊び、様々な体験を通して学ぶことこそが、質の高い幼児教育であると考えます。

